

平成 19 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名	ア ー ス 株 式 会 社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 社 長 太 田 勝 久
コ ー ド 番 号	8 5 1 4 (札 幌 証 券 取 引 所)
問 合 せ 先	取 締 役 経 営 企 画 室 長 多 田 善 行
T E L	0 1 1 - 6 2 2 - 1 5 1 5

内部統制システム構築の基本方針の改定に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 8 月 1 日より子会社を吸収合併し、商号を「アース株式会社」から「株式会社さくらパートナー」に変更するにあたり、内部統制システム構築の基本方針に関し、下記のとおり改定することを本日開催の取締役会において、決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 内部統制の基本方針

当社は、以下の経営理念を経営の拠り所とします。

【経営理念】

「誠実な企業活動を実践し、お客様の信頼にこたえ
新たな価値創造と豊かな社会創りに貢献します」

また、上記の経営理念を踏まえ、当社に適した以下の社是と行動規範を日ごろの業務運営の指針とします。

【社是】

- ・誇り - 会社、自分、職業に誇りを持ちましょう。
- ・熱意 - 誰にも負けない熱意を持って仕事をしましょう。
- ・協調 - 協調、協力して仕事をしましょう。
- ・奉仕 - お客様には奉仕の精神であたたかく接しましょう。
- ・節度 - 節度と礼儀を守りましょう。

【行動規範】

- ・私の行動は、人の生命、安全を脅かしませんか。
- ・私の行動は、法律に触れませんか。
- ・私の行動は、さくらパートナーの方針、規程、規則に則っていますか。
- ・私の行動は、マスコミで報道されても恥ずかしくありませんか。
- ・私の行動は、上司、同僚、部下、家族、友人に知られても構いませんか。
- ・私の行動は、正しいですか。(後ろめたさを感じませんか。)

2. 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

平成 19 年 8 月 1 日より内部統制監査の充実を図るために、「内部統制監査室」を設置し、内部監査規程を改定いたします。

また、社長を委員長とし、組織横断的に諸部門からの社員をメンバーとする「コンプライアンス委員会」を平成 19 年 4 月 27 日に再編成し、内部管理体制強化を図り法令遵守はもとより企業倫理に関する啓蒙、諸問題の検討を行い、経営に反映させるものとします。

新たな制度として平成 19 年 4 月 27 日に「内部通報制度」を制定し、企業活動に伴うリスクの早期発見を促し、重大な問題を未然に防ぎ、違法行為等によるコンプライアンスリスクの極小化を図ります。

さらには、取締役会を通じ、取締役の職務執行の監視をより一層強化するものとします。

3. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に対する体制

取締役の職務の執行に関する情報及び文書の取扱いについて、法令で作成・保管が義務づけられている情報及び文書の他、会社の重要な意思決定、及び重要な業務執行に関する情報及び文書等に関して、「文書管理規程」等の社内規程に基づき、適切に保存及び管理するものとします。

また、取締役及び監査役は、これらの情報を常時閲覧することができるものとします。

なお、「文書管理規程」等に関しては必要に応じて適宜改定し、又は関連規程等との調整を図るものとします。

4. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

企業の持続的発展を脅かす不確実性のリスクに対処すべく、以下のリスクにおける事業継続を確保するための態勢を整備します。

地震、洪水、事故、火災等の災害により重大な損失を被るリスク

役員・使用人の不適正な業務執行により販売活動等に重大な支障を生じるリスク

基幹 IT システムが正常に機能しないことにより重大な被害を被るリスク

その他、取締役会が極めて重大と判断するリスク

なお、有事に際しては「危機管理委員会規程」に基づき、社長を委員長とする「危機管理委員会」を設置し迅速かつ円滑に、事態の収拾に当たります。

5. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、定例の取締役会を毎月 1 回開催するほか、必要に応じ機動的に開催するものとし、重要事項に関し、迅速かつ的確な意思決定を行います。

また、取締役の職務執行については、「組織規程」、「職務権限規程」、「業務分掌規程」において、それぞれの責任者及びその責任、執行手続きの詳細について定め、効率的に職務の執行が行われる体制をとるものとします。これらの規程は、法令の改廃・職務執行の効率化の必要がある場合は、随時見直すべきものとします。

6. 企業集団における業務の適正を確保するための体制

当社「内部統制監査室」が当社全体のコンプライアンスを統括・推進するものとします。監査の結果は当社の代表取締役へ報告するものとします。

7. 監査役を補助すべき使用人に関する体制と当該使用人の取締役からの独立性に関する事項

現在、監査役を補助すべき使用人は配置していませんが、必要に応じて、同使用人を置くこととします。同使用人の任命、異動等に関しては、監査役会の同意を得た上で決定することとし、取締役からの独立性を確保するものとします。

8.取締役及び使用人が監査役に報告するための体制及びその他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

取締役及び使用人は、会社に著しい損害を及ぼす事実が発生し又は発生する恐れがあるとき、役職員による違法または不正な行為を発見したときは、都度監査役会に報告するものとします。

また、監査役は、取締役会その他、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、重要な会議に出席すること、稟議書その他重要な文書を読覧し、必要に応じて、取締役または使用人にその説明を求めることができるものとします。

また、監査役は、代表取締役、内部統制監査室、監査法人とそれぞれ情報の交換を行うなど連携を図っていくものとします。

改定実施日

平成 19 年 8 月 1 日

以上